

# 広報 けせんぬま・もとよし広域

2022.6.1  
No. 75

特集号 Vol.2

# リアス・アーク 美術館

リア美の教育普及事業を  
を中心にご紹介します！

まるこ"と  
"リア美"



リアス・アーク美術館  
RIAS ARK MUSEUM OF ART

- ②…………リア美の教育普及事業
- ③④…………ワークショップと出前授業
- ⑤…………近年の普及活動／ワークショップ  
・出前授業の利用方法
- ⑥⑦…………リア美の展示品紹介
- ⑧…………ご利用案内／お問合せ先など

発行／気仙沼・本吉地域広域行政事務組合  
(気仙沼市赤岩五駄鱈 43-2 / TEL:0226-22-9111)

本号は、前号（2021年6月1日号）に続く、「リアス・アーク美術館特集号」の第2弾となりました。

前号では、当館の事業の中でも「報告の機会が少ない当館の「教育普及事業」を中心とした事業の活動内容について」紹介します。前号と併せて保存版としてご活用ください。

# リアスの教育普及事業



QRコードから、リアス・アーク美術館ホームページへ案内いたします。



リアス・アーク美術館は、国が定める登録博物館として認定されており、現行の「博物館法」※1

に則つて運営されています。登録博物館は本来的には利益を追求しない「教育施設」として人々に学びの機会を提供します。

※1 「博物館法」…国民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的として、博物館の設置や運営について規定している法律。1951年12月公布、1952年3月施行。博物館が公共的であるように、学芸員の配置や年間開館日数に基づく登録制度を定めている。

当館では、「ワークショップ」と展覧会関連行事、さらに「みんなの展覧会をつくろう」や「リアス・ジュニア絵画コンクール」など、学校との連携で行う公募展、そして「出前授業」を中心としたアウトリーチなどの教育普及事業を行っています。

より多くの方にリアス・アーク美術館と美術に親しんでもらうため、子どもから大人まで様々な対象に向けた教育普及活動を展開しています。

また、アウトリーチの一環として当館学芸員が各所からの派遣依頼に応じ、多様なイベントや各

学校の授業、学校行事、工作講座、ワークショップ、講演会等にて講師を務めるなどしています。

近年では、市民の声を美術館運営に反映させる試みとして、圏域在住のクリエーターやまちづくりを担う若手世代を中心メンバーとする「リアス・アーク美術館円卓会議」が始動したのをはじめ、令和6年に開催を計画している開館30周年記念特別企画展を市民とともに企画立案する「ワークショップ」を実施する予定としており、SNSでの発信も含めた事業を展開しています。

リアス・アーク美術館では、美術・歴史民俗・震災の常設展を中心に、毎年開催する企画展覧会事業を活動の主軸としていますが、その他にも様々な事業を行っています。中でも「教育普及事業」は、開館から継続的に力を入れて取り組んでいます。教育普及事業とは、美術や地域文化について多くの方に学ぶ機会を提供し、鑑賞や制作のサポートを行うなどして文化芸術への理解を深めていただく活動です。

# ワークショップと出前授業

当館の教育普及活動の主軸は、なんといっても「ワークショップ」です。当館のワークショップは①通常創作活動 ②美術館鑑賞講座 ③公開ゼミナール ④ワークショップ展 の大きな4つの柱を軸として活動していました。

当館3階の西端にあるワークショップ（創作アトリエ）を「オープンアトリエ」として一般利用者へ作品制作の場を提供する一方、美術への理解・制作技術の向上・展覧会理解度の深化を狙いとした「鑑賞講座」や、当館単独主催の「公開ゼミナール」を幅広い内容で継続的に実施してきました。さらにゼミ等で制作された作品や企画資料等を展示公開する「ワークショップ展」を館内で開催してきました。

東日本大震災後の常設展の新設や職員体制等の諸々の変化により、現在は土・日曜日を中心とした開場とし、親子参加の工作ゼミナールや、油絵ゼミナール等を計画的に開催。要望に応じて美術館施設のバックヤードを見学する「美術館探険」ツアーやなどを実施しています。



出前授業は、アウトリーチの主要な活動の一つです。アウトリーチ(Outreach)とは、「手を伸ばす」と意味します。つまり、当館学芸員が館を出て、各地で教育普及活動を行うことです。来館が難しい方や美術・創作への関心が高くない方に少しでも美術の意義や良さ、創作の世界を知る契機となるよう、皆さんの身近な場所に赴いて講義や講座等を開催しています。講座内容は美術や工作のほか、地域文化・歴史・民俗、震災など多様に対応しています。

出前授業の中でも「注文が多いのは「工作」の講座。これまでに学校や公民館、子供会行事等で多くの方に「利用いただいている。講座の内容は、時間や対象者、参加人数や予算、場所などの条件について主催者と協議しながら決定します。

短時間で作品を完成させるのは、簡単なことではありませんが、素材の選定や制作の行程、レシ



市内公民館での工作講座(ぬわぐるみ)の様子



市内小学校での学年行事(服飾工作)の様子



市内施設での工作講座の様子



ピなどに工夫を凝らし、学芸員が考案した工作を「提案しています。「遊び」にほんのり「遊び心」を織り交ぜながら記憶に残る講座を目指してオリジナル工作を立案しています。

工作の最大の目的はやはり「楽しむ」と。楽しい創作体験を通してものづくりや「美術」に対する見方、考え方につけてもプラスの意識付けができるとを考えつつ制作のお手伝いをしています。



流木を材料に生物を作成する工作教室の様子



流木で作る生活雑貨



ダンボールで作る夢の部屋



YouTube にて展覧会の様子をご覧になります



令和3年8月7日～8月29日の会期で、「リアス・アーク美術館教育普及活動の記録展～ワークショップの軌跡」と題した展覧会を開催し、これまでの教育普及活動の中でも「作品制作」を中心とした講座や講義などの一部を資料や作品とともに展示、紹介し、「好評をいただきました。

# 近年の普及活動

## SNS※による情報発信

※ソーシャル・ネットワーキング・サービス

当館の様々な情報を左記の3種のSNSにて、公開しています。展覧会情報をはじめ、見所や工作の実技などを紹介する動画などを順次アップロードしますので、ぜひチェックしてください。

### ①ツイッター【Twitter】

(短文・キスト・画像・動画投稿サイト)

### ②インスタグラム【Instagram】

(画像等共有アプリ)

### ③ユーチューブ【YouTube】

(動画配信サイト)



YouTube「震災展示解説」



YouTube「展覧会案内」



## リアス・アーク美術館円卓会議

本会議は、市民の声を美術館運営に反映する試みの一つで、リアス・アーク美術館のみならず、国内外の美術館・博物館などの実態を皆で学びつつ、当圏域における理想的な美術館・博物館像を模索するものです。メンバーは、圏域在住のクリエーターやまちづくりを担う若手世代、子育て世代の方々11名と当館学芸員。

本年1月に第1回目、2月に第2回目、3月に第3回目、4月に第4回目の会議が開催され、趣意説明とメンバーの自己紹介、協議内容の確認などが行われました。会議の様子については記録動画をYouTubeで配信する予定です。

今後もメンバーの皆さんと共に美術館・博物館の存在意義や美術館運営、美術の社会的価値などを協議していく予定です。



## 出前授業のご用命は…

- ①「希望の「授業内容／日時／会場／対象者・人数」をお電話またはメールでご連絡ください。
- ②担当学芸員との打合せ後に、「出前授業申込書」に記入して提出ください。  
※「出前授業申込書」は、ホームページからダウンロードできます。※固定日程、定期、複数回の授業を希望する場合は、お早めにお知らせください。



## ワークショップの利用は…

当館のワークショップは、現在土・日曜日を中心におペナンアトリエとして開場していますが、職員の業務の都合や他のセミナーとの兼ね合いからお休みすることもありますので、必ずご来館前にお電話やメールにてご確認ください。

ワークショップでは美術専門の学芸員が制作の指導を行っています。絵画や版画、木工、染色、その他工作など、制作可能な内容は幅広いですが、対応が難しい場合もありますので、「希望の制作内容を事前にお知らせください」。

また、制作のみならず美術や美術館に関する質問、「相談なども受け付けています。ただし、展示室での作品解説や鑑賞案内なども行っていますのでどうぞお気軽にしてください」。

こんなのあるよ！

# 見てみよう！リア美の展示品

リアス・アーク美術館は、美術のほか地域の歴史や文化、民俗を紹介する博物館としての位置付けもあり、常設展では様々な作品や資料を展示しています。今回はその展示品の中から一部をピックアップして紹介します。

## インスタント〇〇のブロンズ像！？

「歩くサッポロ一番」と題された作品はブロンズ（青銅）でできています。タイトルと見た目からは私たちがよく知っているインスタント食品の形だと分かるでしょう。しかし、実はこれには2本の足が生えています。

作者は一体何を考えてこの作品を制作したのでしょうか。また、どんな制作工程を経てどんな技術が必要なのでしょうか。そのなぞは展示室での作品観察と当館発行「読む美術館」を読んで解明しましょう！

アークギャラリー【収蔵美術作品展示】

荒井俊也【歩くサッポロ一番 2002】2002年／ブロンズ（写真は部分）



## 震災前の風景に会いに…

気仙沼南町や魚町、南三陸五日町など、東日本大震災で被災した地区の震災前の街並みが描かれています。作家は石巻出身の浅井元義さん。

今となっては、懐かしい過去の様子が記録された貴重な絵画資料となりました。昭和の風情漂う建物が描かれた33点の作品群をぜひ会場にてご覧ください。

アークギャラリー【収蔵美術作品展示】

浅井元義【気仙沼・南三陸のスケッチシリーズ】2003～2006年／紙・オイルパステル（写真は部分）

## リアルなヒツジさん

### 大きな人

全長2.7mのそれはそれは大きな人が展示室の奥で寝そべっています。骨はないのでクネクネしています。起こさないようにご覧ください。

鎌田紀子【のだばる】2008年／ミクストメディア（布ほか）（写真は部分）

大きなキャンバスにヒツジ一頭が毛一本一本まで丹念に描かれています。質感まで伝わってくる描画技術をじっくりとそのメエ～（目）でご覧ください。

田塚麻千子  
【wool】  
2003年  
油彩  
キャンバス  
(写真は部分)



ともに アークギャラリー【収蔵美術作品展示】

# 手書きイラスト解説

山内館長の手書きイラストを展示資料の解説やイメージ図として採用しています。写真だけでは伝わりにくいこともイラスト付きなら明快ですね。このゆる~い感じが大好評。ついつい時間を忘れて見入る人も続出中です！当館名物をぜひ一度ご覧ください。

イラストや写真をふんだんに掲載した本展解説図録を1冊800円で販売しています。

アークギャラリー【方舟日記】内各所



## 囲炉裏（再現）

ほんの数十年前までは一般家庭にあった土間や囲炉裏。当館では実際に使用された囲炉裏棚を一角に設置し、道具や家具と併せ、当時の様子の一部を再現しています。あなたは懐かしいと感じますか？それとも…

アークギャラリー【方舟日記】



## ひとつひとつが家なんだ

東日本大震災の被災物「タイル片」。津波後、基礎しかなかった家の跡地にタイルが残っていた。様々な表情をしたその一片々が、それぞれ一軒々の家なのです。あの日まで暮らした家の形見なのです。

企画展示室【東日本大震災の記録と津波の災害史】

## ホヤのホルマリン漬け (山ぶどうツル付)

そんじょそこらのホヤではありません！…というのは、よく見ると分かるのですが、これらのホヤは「山ぶどう」のツルに生えています。つまり、かつてホヤの養殖で採苗する際に「山ぶどう」のツルを使用していたことを物語る貴重な資料です。ぜひ展示室でじっくりとご覧ください。

アークギャラリー【方舟日記】 一養殖コーナー



## 古代生物の痕跡

気仙沼市、南三陸町は化石・鉱物の宝庫と言われています。南三陸町歌津の魚竜は「ウタツサウルス」として有名です。気仙沼は鹿折金山などが有名ですね。

当館では気仙沼産アンモナイトやヘリコプリオン(軟骨魚類・古生代ペルム紀)のレプリカ、南三陸産モノチス(二枚貝・中生代)などの化石を複数展示しています。

アークギャラリー【方舟日記】 一アリスの地理・地形コーナー

## 見学モデル－学校の遠足や校外学習にも

## ご利用案内

## アクセス

▼**ピントコース（目安1時間）**  
お目当ての企画展や常設展、共催展を観覧します。事前に会期等を「」確認ください。

例  
展覧会鑑賞「〇〇展」・「書初め展」など  
社会科「昔の生活道具」・「漁具」・「養殖」など  
美術科「美術作品鑑賞」（学芸員解説も可）  
生活科「震災から学ぶ」・「減災について」など

### ▼ゆったりコース（目安2～3時間）

特別展と常設展を観覧して、レストランで昼食や喫茶を楽しむ。建築の観賞もどうぞ。

▼**無料コース**  
館内と館周辺の散策・展望台での記念撮影・建築、屋外作品観賞・中庭でお弁当ランチ等。

## 感染症予防対策

職員の体調管理のほか次の対策を実施中です。

- 1 入館時のマスク着用・検温・手指消毒
  - 2 密回避の人数制限・換気
  - 3 受付シールドの設置
  - 4 スタッフの手袋着用
  - 5 「マイントレー」での金銭授受。
- ※ご来館の際は必ずマスクをお持ちください。

## リアス・アーク美術館

気仙沼市赤岩牧沢138-5  
(気仙沼市総合体育館側・ウエーブそば)  
電話：0226-241-1611



ホームページはQRコードから  
ホームページはQRコードから

## お問合せ先

※療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、及びその介護者1名は常設展無料、企画展半額。身体障害者手帳をお持ちの方、及び障害の程度が一級または二級の方の介護者1名は常設展無料、企画展半額。

## アクセスマップ



東北新幹線【一ノ関】→大船渡線  
線）→【気仙沼】→東北新幹線【仙台】→（気仙沼線）→（気仙沼）→JR新潟線【仙台】→（約15分）を「」利用ください。※「タクシーカード」と「常設展観覧券引換券」のセットクーポン券が気仙沼駅前観光案内所、気仙沼観光コンベンション協会（電話：0226-221-4560）で販売中。※現在、気仙沼線【前谷地→気仙沼】間、大船渡線【盛→気仙沼】間はBRT運行。

三陸自動車道【気仙沼中央IC】から約5km（仙台市から約115km／石巻市から約70km／陸前高田市から約25km）、東北自動車道【一ノ関IC】から約50km◆無料駐車場あり（普通3台・大型5台）



東北新幹線



三陸自動車道



タクシー



BRT



東北新幹線



東北自動車道



タクシー



BRT



仙台



仙台



タクシー



BRT



仙台



仙台



タクシー



アカセス